ローカル鉄道観光資源活用促進事業

国土交通省 観光庁

事業目的・背景・課題

〇観光は我が国の成長戦略の柱であり、地域の活力の基盤。インバウンドが三大都市圏に集中している中、地方への誘客を強力に推進することで2030年6000万人の目標を達成するとともに、地方経済の活性化につなげる必要。
〇地方への誘客をより一層促進する上では、ローカル鉄道を「地域の足」「観光の足」として持続可能性を高めるとともに、観光資源そのものとして磨き上げ、活用することにより、目的地のみならず、移動手段そのものの魅力も高め、快適で満足度の高い移動とすることが必要であり、ひいては地域としての観光の魅力を向上させることが重要である。

事業内容

〇インバウンド旅客の地方誘客を推進するため、ローカル鉄道を「地域の足」「観光の足」として持続可能性を高めるとともに、観光資源そのものとして活用した地域ぐるみでの取組を支援する。
〇具体的な補助対象事業は以下のとおり。
①インバウンド誘致のために地域と連携して実施する取組に係る経費（委託費、広告宣伝費、開発費等）
②インバウンドの受入に対応した施設等の整備に関する経費（工事費、設計費等）

事業スキーム

・事業形態：直接補助事業
（①については400万円まで定額、超える分は補助率 1/2（JR本州三社又は大手民鉄の路線（大都市圏は対象外）は1/3）
②については補助率 1/2（JR本州三社又は大手民鉄の路線（大都市圏は対象外）は1/3））
・補助対象：自治体、鉄道事業者等
・事業期間：令和８年度～

事業イメージ

メニュー①の事例



（沿線地域と連携した旅行商品の造成）



（地元の食材や沿線風景を楽しむ列車等の企画・商品造成）

メニュー②の事例



（観光資源化を目的とした駅舎整備）



（観光列車）